

令和6年度教育学類 私費外国人留学生入試

「小論文」問題

実施時間 10:00～11:30

解答上の注意

1. 指示があるまで問題冊子を開いてはいけません。
2. 問題には小問が3つあります。所定の解答用紙を使って解答してください。解答には日本語を用いてください。
3. 下書きは（下書き用）とある用紙を用いてください。（下書き用）とある用紙に記入された内容は、採点の対象になりませんので、解答を記入する際に十分注意してください。
4. 監督者からの指示に従い、解答用紙の所定の欄に受験番号と名前を忘れずに記入してください。
5. 「やめ」の合図があったら、すぐに書くことをやめて、筆記用具を机の上に置いてください。解答を書き続けた場合には不正行為とみなします。
6. 解答用紙は回収します。問題冊子と下書き用紙は各自持ち帰ってください。

※不明な点があったときや気分が悪くなったときは、手を挙げて知らせてください。

問題 次の文章を読んで、下記の問に答えなさい。（日本語で解答すること）

（この部分は、著作権の都合により公開できません）

出典：中澤渉『日本の公教育 学力・コスト・民主主義』、中公新書、2018年、
250～252頁

問1 文章の中に出てくる次の言葉を説明しなさい。

- (1) 公教育
- (2) 個人化
- (3) セーフティ・ネット

問2 「包摂（インクルージョン）の場」としての学校とはどのような意味か、簡潔に説明しなさい。

問3 「未来に向けた、学校の可能性」をあなたはどのように考えますか。この文章を踏まえて自分の考えを述べなさい。